

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

平成23年度第1四半期報告について、金融安定化フォーラムの報告書(平成20年4月)に示された先進的開示例に基づき、証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況を開示します。概要は以下のとおりです。

【サブプライムローン】

- ・ サブプライムローン関連商品への直接投資はありません。
- ・ ヘッジファンドを通じたサブプライムローン関連商品への間接的なエクスポージャーは1億円未満です。

【証券化商品等】

- ・ 平成23年度第1四半期末のエクスポージャーはすべて日本国内のものであり、海外のものはありません。
- ・ 当期において、売却損益・評価損を計上したものはありません。

1. 投資状況

①特別目的事業体(SPEs)一般

特別目的事業体(SPEs)への投資はありません。

②債務担保証券(CDO)

債務担保証券(CDO)への投資はありません。

③その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー

サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産とした証券化商品等の取引・残高はありません。

④商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位：億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考：平成23年3月末		
商業用不動産担保証券(CMBS)	111	110	△4	-
日本	111	110	△4	-

※ 担保となる不動産はすべてオフィスビルとなっています。

⑤レバレッジド・ファイナンス

レバレッジド・ファイナンスの取引・残高はありません。

⑥その他(※1)

(単位：億円)

	時価	含み損益	実現損益
RMBS(※2)	9,487	293	-
うち住宅金融支援機構	6,022	159	-
うち民間金融機関等	3,465	133	-
ABS(※3)	520	3	-

※1. サブプライムローンに直接投資しているものではありません。

なお、当社が保有しているヘッジファンドを通じたサブプライムローン関連商品への間接的なエクスポージャーは1億円未満です。

CDS、クレジットリンクノートの取引・残高はありません。

※2. RMBSの裏付債権はすべて日本国内の住宅ローンであり、海外の住宅ローンを裏付けとするものではありません。

※3. ABSの裏付資産はすべて日本国内の売掛債権、リース料債権等であり、海外の債権を裏付けとするものではありません。

①～⑥総合計

(単位：億円)

	時価	含み損益	実現損益
証券化商品等合計	10,120	292	-

※ 上記残高のエクスポージャーはすべて日本国内のものであり、海外のものはありません。

2. その他の関連情報

子会社等における、サブプライムローン関連商品への投資はありません。

<各種証券化商品の用語について>

ABS: Asset Backed Securities (資産担保証券)

ABS-CDO: CDO of ABS (資産担保証券を裏付資産とする債務担保証券)

CBO: Collateralized Bond Obligation (債券担保証券)

CDO: Collateralized Debt Obligation (債務担保証券)

CDS: Credit Default Swap (クレジット・デフォルト・スワップ)

CMBS: Commercial Mortgage-Backed Securities (商業用不動産担保証券)

CLO: Collateralized Loan Obligation (ローン担保証券)

RMBS: Residential Mortgage-Backed Securities (住宅ローン担保証券)

以上